臨床評価指標について

日本病院会QIプロジェクト指標を参考に計算したデータです。

※「参考」は、日本病院会QIプロジェクトの各年度の報告書の数値を記載(一部、算出定義が当院と異なる場合があります。)

NI		R5(2023)年度		芰	第11年表別 当所に共体も参加 の かよう。 /	
No.	指標		分母	割合	·	
			111111111111111111111111111111111111111		分子:患者満足度調査において、「知人等に紹介や推薦をしたいと思われますか」という設問に対し、4段階評価中上位2	
1	 患者満足度(外来)	381	416	91.6%	つの評価に該当する回答をした外来患者数	
	思有	301	410	91.0%	分母:患者満足度調査に回答した外来患者数	
					除外:当該項目への無回答者	
2	患者満足度(入院)		263	97.3%	分子:患者満足度調査において、「知人等に紹介や推薦をしたいと思われますか」という設問に対し、4段階評価中上位2	
		256			つの評価に該当する回答をした入院患者数	
		250			分母:患者満足度調査に回答した入院患者数	
					除外:当該項目への無回答者	
3	 入院患者の転倒・転落率	201	109,706	1.83 ‰	分子:医療安全管理室へインシデントレポートが提出された転倒・転落件数	
			100,100		分母:入院延べ患者数	
4	入院患者の転倒・転落による損傷発生率		109,706	0.31‰	分子:医療安全管理室へインシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・転落件数	
	(損傷レベル2以上)				分母:入院延べ患者数	
5	入院患者の転倒・転落による損傷発生率	2	109,706	0.02‰	分子:医療安全管理室へインシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル4以上の転倒・転落件数	
	(損傷レベル4以上)				分母:入院延べ患者数	
6	入院患者の転倒・転落率		77,193	2.16‰	分子:医療安全管理室へインシデントレポートが提出された65歳以上の転倒・転落件数	
	(65歳以上)				分母:65歳以上の入院延べ患者数	
					・各年度4月が調査対象期間	
					分子:調査対象期間のd2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数	
					分母:入院患者延べ数(人日) 	
l _						
/	新規圧迫創傷(褥瘡)率	5	5,681	0.08%	- 同日入退院患者	
					・調査対象期間及び調査対象期間前3か月の入院患者で入院時にすでに褥瘡保有が記録(d1,d2,D3,D4,D5)されていた患者	
					の調査対象期間の入院日数	
					・調査対象期間前3か月に褥瘡院内発生(d1,d2,D3,D4,D5)が確認され、調査対象期間まで継続して入院している患者の調	
-					査対象期間の入院日数	
8	紹介割合 (2022年度は地域医療支援病院紹介率)	19,993	24,837	80.5%	分子:紹介患者数+救急搬送患者数	
					分母:初診患者数 	
9	逆紹介割合(2022年度は地域医療支援病院逆紹介率)	13,217	189,060	69.9‰	分子:逆紹介患者数	
_					分母:初診患者数+再診患者数	
	症候性尿路感染症発生率		15,474		分子:分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数	
					分母:入院患者における延べ尿道留置カテーテル使用日数 	
10		12			除外	
10		43		0.5%	・ 恥骨上膀胱留置カテーテル ・コンドーム型カテーテル	
					・ 間欠的な導尿目的のカテーテル挿入	
					・間入りな等が目的のカナーナル挿入 ・洗浄目的で挿入された尿道留置カテーテル	
					分子:救急車で来院した患者数	
11	救急車・ホットライン応需率	10,322	10,421	99.0%	分母:救急車受け入れ要請人数	
					分子:適切な抗菌薬が選択された手術件数	
			210		分母:特定術式の手術件数	
					・	
12	 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率	210			・ 股関節人工骨頭置換術、 膝関節置換術	
12	17年間以にものる過例なり例が加固未送が平	210		100.070	• 血管手術	
					・・ 大腸手術	
					・	
					分子:調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告件数×100	
13	インシデント・アクシデント	26,492	416	63.6	分母:許可病床数	
14	医師が提出したインシデント・アクシデントの割合	21.5	264	8.3%	分母:調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告総件数	
		+	***************************************		分子:インフルエンザワクチンを予防接種した職員数	
15	職員のインフルエンザワクチン予防接種率	802	927	86.5%	分母:職員数	
		+			分子: 分母のうち(物理的)身体抑制を実施した患者延べ数	
16	18歳以上の身体抑制率	17,298	95,043	18.2%	分母: 18歳以上の入院患者延べ数	
					// マ・ +9/M/ハエッハル心 日	

○独自指標

N	七栖	R5(2023)年度	☆美
	指標	分子 分母 割合	上 上 上 上 上 上 上 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

No.	指標	R5(2023)年度			「 「 「 「 「
140.		分子	分母	割合	异山龙我
1	入院患者MRSA感染率	23	10,109	2.2%	分子:MRSA感染症患者数
+					分母:総入院患者数
2	中心静脈カテーテル関連血流感染(BSI)発生率	7	3,056	0.2%	分子:中心静脈カテーテル関連血流感染(BSI)発生数
					分母:中心静脈カテーテル使用日数累計
2	手術部位感染(SSI)発生率	64	2,140	3.0%	公子:毛術部位咸塾(SSI)登生数
3					分母:手術件数(JANIS対象術式)
1	初期臨床研修医1人あたりの臨床研修指導医数	23	22	32 /1 9%1	分子:初期臨床研修医の人数
4	が知論が判例で1人のにかの論が前後14年区数	23	52		分母:臨床研修指導医数(厚生労働省が定めた「医師の臨床研修に係る指導医講習会」の修了者数)

	No.	指標	R5(2023)年度
	INU.	7日15天	実績
	4	臨床研究医(後期臨床研修医)数(人)	26
	5	初期臨床研修医数(たすき掛けを含む)	23